

しょうがくせい
小学生
を
向け

とうきょう はな
これからの東京を話そう!

はな あ
こどもワークショップで
話し合ったこと

じんぐうまえ ごちよう め ちく
神宮前五丁目地区のまちづくり

ねん がつ にち きん じつ し
2025年8月1日(金)実施

き いけん こんご
みなさんから聴いた意見は今後のアクションにつなげていきます

じん ぐう まえ ご ちよう め ち く
神宮前五丁目地区のまちづくり

かいさいび [開催日] 2025年8月1日(金) ばしよ [場所] 国連大学(渋谷区)



だれ つど こうりゆう せいちよう
誰もが集い、交流し、成長することができる

まちづくりを進めています。

あたらし としよ かん げきじよう
新しく図書館や劇場などをつくるため、

「こんな場所があったら楽しいな」

「こんなことができたらいいな」といったみなさんの
“こんなまちになったらいいな”を教えてくださいました。

みなさんの声と、その声をもとにした
東京都の取組や受け止めを紹介します。



みなさんに聞いたこと

あたらし としよ かん
新しい図書館でやってみたいこと

あたらし げきじよう ひろ ば
新しい劇場、広場で
やってみたいこと



ワークショップの流れ



1

テーマについての勉強

東京都の職員から、神宮前エリアがどんな場所なのか、そしてこれからこのまちをもっと良くするために作られる図書館や劇場、広場についてお話を聴きました。また、国連大学とも協力・連携してまちづくりを進めていくことから、大学職員の方からも国連大学が何をしている機関なのかなどについてお話を聴きました。



2

見学

国連大学の国際会議場などを見学した後、上の階へ移動し高い場所から神宮前五丁目地区や周辺の街並みを見渡しました。



3

話し合い

グループに分かれて自由に意見を出し合いました。



4

みなさんの声

紙に書きだして、いろんな意見が見えるようにしました。



5

発表

自分で考えたことやグループで話し合ったことをみなさんに伝えました。



6

声を届ける

東京都の職員にみなさんの声を届けることができました。

みなさんの意見やアイデア

「本を読むだけじゃない」これまでの使われ方に捉われない

新しい図書館でやってみたいことについて

たくさんビーズクッションがあるなど、くつろいで過ごせる(小5、小6、中2)



静かなスペースと周りの人と話すスペースを分ける。本を読むだけではなく、いろいろな過ごし方ができる(中2、中3)



レストランやカフェを併設することで使いやすい図書館にする(小6、中2、中3)



本の世界に入ったような体験ができる(小5)



面白い外観の図書館(中2)



本だけではなく音楽や映像などもみることが出来る場所にする(中2、中3)



工作や料理、日本文化の体験ができる(中2)



自分の本や伝記が作れたり、みんなで作った本を置いたりできる図書館(小5、中1)



げき み 「劇を観るだけじゃない」これまでの使われ方に捉われない

あたら げきじょう
新しい劇場でやってみたいことについて



ふ だん み 普段は見られない
ぶ たい そう ち しやうめい
舞台装置や照明、
お だう ぐ 大道具などの
ぶ たい うら がわ み
舞台の裏側を見てみたい
しやう しやう ちゆう
(小5、小6、中2)



に ほん がい げき み 日本以外で劇を観ないので、
が い こく げき み 外国の劇も観てみたい(中2)



ほん かく て き ぶ たい 本格的な舞台で
ほ ほ いく えん がっ こう 保育園や学校の
はっ びやう かい 発表会がしたい
しやう
(小6)



げき い しやう 劇の衣装を
ちか み 近くで見たい
ちゆう
(中2)



げき だん いん 劇団員やスタッフの人に
しつもん 質問できるツアーなどの
こうりゆう 交流できる場がほしい(小6)



や ね 屋根がない
かい ほう て き げき じやう 開放的な劇場が
あるといい(中2)



げき じやう さい しん ぎじゆつ 劇場に最新技術を
と 取り入れる(中2)





あたら ひろ ば
新しい広場でやってみたいことについて

木や花を植えたい、
育てたい(小5)



外のベンチで
図書館の本を
読みたい
(中2)

選手(プロ)から
直接教えてもらいたい(中1)



自然が多く
リラックスできる環境に
してほしい(中1)

ベンチを多く作って、
人と人が触れ合える
環境にしてほしい
(中1)



公園だとできないものが多いため、
球技(バスケ、サッカーなど)が
できる場所がほしい(中2)





いけん こんな意見もありました

自分の好みの本が
すぐみつかるとのこと(小6)



本の作者と
会えるコーナー
(小5)



本を買える
ようにする
(中2)

各都道府県の特徴を
知ることができる
(観光センター的なところ)(中2)



古本市を
開催する
(中2)



国連大学で
働いている人から
海外の話聞いてみたい
(中1)



ものづくりのワークショップに
参加して作ったものを
図書館に置きたい(小6)



とうきょうと 東京都の受け止め

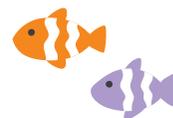
みなさんからいただいた意見を踏まえ、まちづくりの具体化に向けた検討へ反映しています。

子供をはじめとする誰もが集い、交流し、成長することができる場にしていくことで、一人ひとりが主役となるまちづくりを進めていきます。





ワークショップの概要



テーマ

じんぐうまえ ごちようめ ちく
神宮前五丁目地区のまちづくり

内容

じんぐうまえ ごちようめ ちく としょかん げきじょう ひろば よてい
神宮前五丁目地区では、図書館や劇場・広場などをつくる予定です。
このワークショップでは、あら としょかん げきじょう ひろば
新たな図書館や劇場・広場などでみなさん
がやってみたいことについていっしょ はな あ
一緒に話し合ってもらいました。
みなさんの声と、その声をもとにしたとうきょうと とりくみ う と
みなさんの声と、その声をもとにした東京都の取組や受け止めを
しょうかい
紹介します。

あつ にんずう 集まってくれた人数

しょうがくせい めい ちゅうがくせい めい めい
小学生10名、中学生10名：20名

にち じ 日時

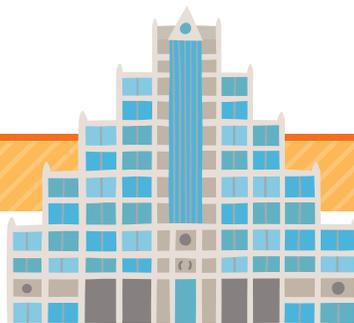
れいわ ねん がつ にち きん
令和7年8月1日(金) 13:00～16:30

ば しょ 場所

こくれんだいがく しぶや く
国連大学(渋谷区)

たんとうきょく 担当局

と し せい び きょく きょういくちやう ざい む きょく
都市整備局・教育庁・財務局



みなさんの意見を踏まえた 東京都の取組



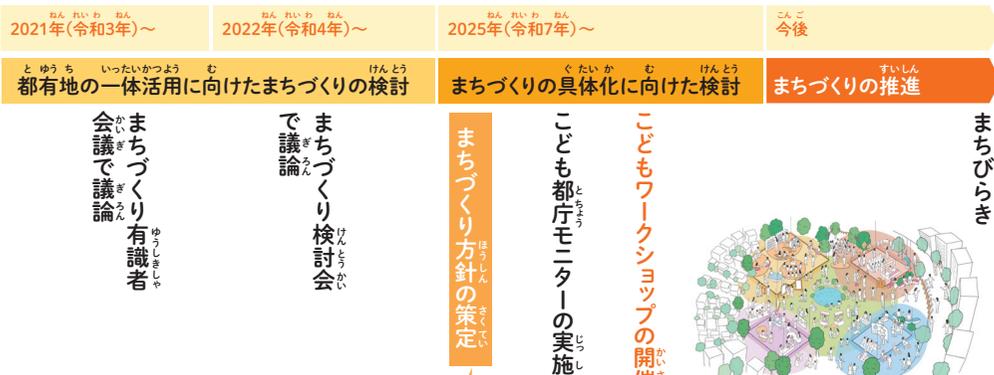
神宮前五丁目地区まちづくりにおける これまでの取組とこれからの計画

東京都では、これまで大学の先生に意見を聞きながら、東京都の土地の一体活用に向けたまちづくりの検討を進めてきました。令和7年4月にはまちづくりの将来像や進め方を示す「神宮前五丁目地区まちづくり方針」を策定しました。今回のワークショップでみなさんからいただいた意見も参考にしながら、神宮前五丁目地区まちづくりの具体化に向けた検討を進めていきます。みなさんが東京都の職員になる頃…?には新しいまちが完成する予定です。



神宮前五丁目地区まちづくりのURL:

https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/machizukuri/machi_project/toshi_saisei/saisei10



神宮前五丁目地区まちづくり方針

1.新しい「まち」の将来像について

地域の特性や歴史などを踏まえて、「誰もが集い・つながる、開かれた『智の創造拠点』」を将来像として設定しています。

「智の創造拠点」では、受動的だけでなく、能動的な活動を誘発する環境を整備することで、一人一人が心の豊かさを実感でき、自己実現が図れる場を目指していきます。

2.将来像を実現するために新しい「まち」でつくる施設について

創造・交流図書館を軸に、劇場、広場等を作ります。これらの機能がお互いに連携し、相乗効果を発揮しながら、まちの将来像を実現していきます。



ワークショップの感想とお礼



自分の言いたいことを話せる貴重な時間だった。(小5)

みんなと考えることによっていろいろな発想が
思いついて、自分が考えていなかったことが
わかるのでよかったです。(中1)

いろいろな意見を1つにまとめて
発表できて楽しかった。(中3)



東京都のまとめ

ワークショップでは、みなさんがお互いのアイデアに耳を傾け質問し合いながら、楽しんで自由に話し合うことで、意見がどんどん深まっていく様子がとても印象的でした。みなさんからいただいた、「こうだったらいいな」という自由なアイデアは、まちづくりを進めていくうえでの大切な視点です。

これからも引き続きみなさんが自由に意見を言える場を作って、声や思いを聞きながら、まちづくりを進めていきます。楽しみにしててください!





こどもワークショップって何？

東京都は、子供の笑顔があふれる社会の実現を目指しています。

こどもワークショップは、社会の主役であるみなさんが
意見を出し合う場として開催しました。

東京都をもっとすてきな場所にするため、みなさんの思いや考えを聴きました。

なぜ、
こども
に
聴くの？

子供は社会の一員であり、たくさんの権利を持っています。
子供の権利が大切にされ、
みなさんが幸せにすごせるように
「東京都こども基本条例」ができました。



東京都こども基本条例

● 子供を権利の主体として尊重

子供には、誰もが持っている当たり前の「権利」があり、大切にされます。

● 子供の最善の利益が最優先

大人は、子供に最もよいことは何かを第一に考えます。

● 子供の意見は大切

子供の意見は価値があるものです。大人は、子供の意見にしっかり向き合います。

東京都は、みなさんが安心して学び、遊び、暮らせるように、学校や公園、水道、病院、道路など、毎日の生活に欠かせないさまざまなことを支えています。また、社会にあるいろいろな課題を解決するための取組も進めています。

そして、子供のための取組を考えると、主役であるみなさんの声はとて大切です。東京都は、これからもみなさんの思いやアイデアをさまざま

まな形で聴き、よりよい政策づくりに生かしていきたいと考えています。
ぜひ、みなさんの率直な意見や気づきを聴かせてください。

みなさん向けの情報を掲載しているHPがありますので、ぜひご覧ください。



これからとうきょうの東京を話そう！

こどもワークショップで話し合ったこと

もっとまな学びたくなる、
新しいあた高校こうこうのアイデア

2025年8月21日(木)実施

自然しぜん豊かなゆた東京とうきょう

2025年7月5日(土)実施



しょうさい
詳細は
こちらから▼



東京都

令和8(2026)年3月発行 登録番号(6)36
[編集・発行]
東京都子供政策連携室 企画調整部 企画調整課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番地1号
電話：03(5388)3812
E-mail：S1110301@section.metro.tokyo.jp